

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

第12回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時： 令和3年2月5日（金） 16:00～17:30

場所： オンラインにて実施

----- 議事次第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) ワーキンググループの取組報告
 - 2) 次年度の取組について
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

○第12回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ 資料

- ・ 資料1 ワーキンググループの取組報告
- ・ 資料2 次年度の取組について

出席者名簿(敬称略・順不同)

< 専門家 >

所属等	氏 名
再生普及小委員会委員長	高橋 忠一 ○
北海道教育大学釧路校 教授	境 智洋 ○

< 学校教員 >

所属等	出席者
釧路市立中央小学校	山本 翔太
釧路市立芦野小学校	木村 浩二
釧路町立別保小学校	カネフラー 明奈 ○
標茶町立標茶小学校	蛭名 千明
鶴居村立下幌呂小学校	柴田 康吉 ○
鶴居村立幌呂中学校	長谷 泰昌 ○
釧路湖陵高等学校	池田 耕 ○

< 学校教育行政機関等 >

機 関 名	出席者
北海道教育庁釧路教育局 教育支援課 義務教育指導班	指導主事 佐々木 慶典 ○
釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課	指導主事 畠山 和彦 指導主事 関本 裕介
釧路町教育委員会 教育部 指導主事室	室長 加藤 誠一
標茶町教育委員会 指導室	指導室長 秋山 豊
弟子屈町教育委員会 指導室	指導室長 辻川 智宏
鶴居村教育委員会 管理課 学校教育係	係長 清野 玲子
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	自然再生企画官 瀬川 涼 ○

< 事務局 >

機 関 名	出席者
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	自然保護官 瀧口 さやか
公益財団法人北海道環境財団	環境教育課長 山本 泰志 環境教育課 安田 智子

ワーキンググループの取組報告

フィールド学習コーディネイト6件、授業支援6件、教員研修1件を実施した。

実施日	対象	実施場所	内容
7月	3日 標茶小学校5年生教員	達古武湖周辺フィールド	コーディネ
	9日 標茶小学校5年生	達古武湖周辺フィールド	コーディネ
	29日 釧路町立別保小学校教員	細岡展望地周辺フィールド	コーディネ
8月	5日 釧路町立別保小学校5年生	細岡展望地周辺フィールド	コーディネ
	5日 釧路市立中央小学校教員	釧路湿原右岸堤防周辺フィールド	コーディネ
	21日 釧路市立中央小学校5年生	温根内ビジターセンター、釧路湿原右岸堤防周辺フィールド	コーディネ
9月	11日 標茶町立標茶小学校5年生	標茶小学校	支援
10月	13日 釧路町立別保小学校5年生	別保小学校	支援
11月	19日 標茶町立標茶小学校5年生	標茶小学校	支援
	20日 釧路町立別保小学校5年生教員	釧路町森林公園	支援
12月	22日 釧路町立別保小学校5年生	別保小学校およびオンライン	支援
	24日 釧路市立中央小学校5年生	オンライン	支援
1月	23日 学校教員等	オンライン	研修講座

注記) 上記「内容」中の記号は以下を表す

コーディネ：フィールド学習コーディネイト、支援：授業支援

また、森林再生小委員会事務局として環境省釧路自然環境事務所において、釧路湖陵高等学校を対象とした以下の取組を実施した。

実施日	対象	実施場所	内容
7月	20日 理数科1年生	釧路湖陵高等学校	講義
8月	5日 教員	達古武湖周辺フィールド	案内
	19日 理数科1年生(代表生徒8名)	達古武湖周辺フィールド	指導
	26日 理数科1年生	達古武湖周辺フィールド	指導
10月	20日 理数科1年生	釧路湖陵高等学校およびオンライン	発表への助言

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

○フィールド情報マップとりまとめに向けた現地踏査

- ・塘路湖周辺フィールドおよびシラルトロ湖周辺フィールドを対象として、フィールドの踏査を行った。
今後、フィールド情報マップとしてとりまとめ、WEB サイトへ掲載する。

○映像資料等のとりまとめ、連携校への提供

- ・フィールド学習のコーディネートを行った、釧路市立中央小学校、釧路町立別保小学校、標茶町立標茶小学校を対象として、学習当日の様子を映像資料としてとりまとめ、各学校へ共有した。
- ・以下の映像資料等を取りまとめ、学校教員に情報提供を行った。

【釧路町立別保小学校に提供】

- ▶ ヤチボウズ動画資料、現物サンプル（※釧路町の許可を得て釧路町森林公園にて採取）
- ▶ ヤチマナコ動画資料
- ▶ 北斗遺跡の写真資料
- ▶ 釧路川水系河川に関する参考ホームページ（写真・動画資料）
- ▶ 釧路川水系河川で生息が確認された魚類に関する資料

【釧路市立芦野小学校に提供】

- ▶ 釧路湿原に生息する生き物・歴史に係る資料、調べ学習にあたっての児童への助言

【釧路市立清明小学校に提供】

- ▶ 釧路にいるお勧めの生物、理由、お勧めのスポット等の情報提供

2. 自然再生の学校教育への活用促進

授業支援の取組みの中で、題材として自然再生事業の取組みの紹介等を行った。

3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○教員研修講座の実施

- ・タンチョウレスキューの現場から～釧路市動物園の取組み～

〔日時〕 令和3年1月23日（土）10：00～11：30

〔場所〕 オンライン講座として実施

〔講師〕 飯間 裕子氏（釧路市動物園 ツル担当獣医）

〔参加者〕 11名（教員3名、一般8名）

〔内容〕 現在のタンチョウをとりまく現状、動物園への保護収容の原因、タンチョウの命をつなぐ現場で行われている様々な取組みに係る講話。



今後、以下の講座を実施する。

- ・生き物たちの命をつなぐ知恵～冬を耐え忍ぶ生き物を探そう！

[日時] 令和3年2月11日(木・祝日) 10:00～11:00

[場所] オンライン講座として実施

[講師] 照井 滋晴氏(NPO 法人環境把握推進ネットワーク代表)

[内容] 達古武湖に注ぎ込む小さな小川で発見した様々な生き物と、その生息場所の映像、生態の解説を交えながら、生き物が冬を生き抜く知恵をみつめる。

○授業支援の実施

- ・標茶町立標茶小学校でのレクチャー

実施日時: 令和2年9月11日 13:30～15:05

対象: 5年生1クラス

内容: 児童の学習テーマに係る質疑対応、レクチャー

- ・釧路町立別保小学校でのレクチャー

実施日時: 令和2年10月19日 9:10～10:55

対象: 5年生33名

内容: 児童の学習テーマに係る質疑対応、
レクチャー



- ・釧路町立別保小学校への資料等の提供、教員への解説

実施日時: 令和2年11月20日 13:00～13:30

対象: 5年生教員

内容: ヤチボウズサンプルの採取・提供、
ヤチボウズの解説



○釧路湿原流域環境を題材とした実践等の発表の場作り、学びのプロセスの支援

- ・発表会のコーディネイト、とりまとめにあたっての助言

研究発表ボードを活用し探求的な学習に取り組む学校を対象に、中間発表会等のコーディネイトを行った。

- ▶ 標茶町立標茶小学校5年生 プレ発表会【学校訪問】

実施日時: 令和2年11月19日 13:30～15:05

学校訪問: 境教授(北海道教育大学)、秋山室長(標茶町教育委員会)、高橋保護官補佐(環境省釧路自然環境事務所)、山本・安田(北海道環境財団)

概要: ポスターセッション形式で行われた各発表に対して助言を行った後、境教授、秋山室長より児童全員に対する総括の助言が行われた。



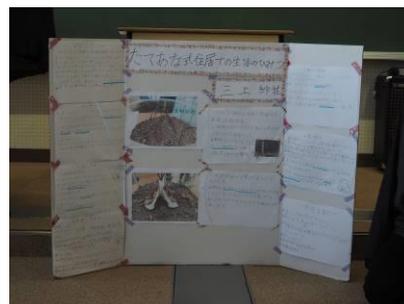
▶ 釧路町立別保小学校 5 年生 中間発表会【学校訪問・オンライン併用】

実施日時：令和 2 年 12 月 22 日 9：25～11：15

学校訪問：境教授（北海道教育大学）、元岡課長補佐・松橋氏（釧路市環境保全課）、高橋保護官補佐（環境省釧路自然環境事務所）、安田（北海道環境財団）

オンライン参加：山本（北海道環境財団）

概要：4 グループに分かれて行われた各発表に対する助言、質疑対応を行った後、学校訪問者全員より総括のコメント。

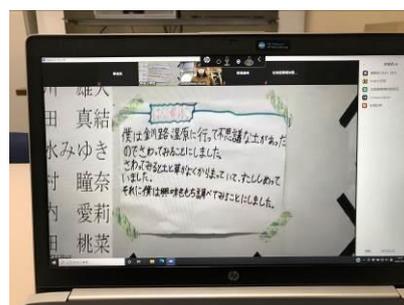


▶ 釧路市立中央小学校 5 年生 中間発表会【オンライン】

実施日時：令和 2 年 12 月 24 日 13：30～15：05

オンライン参加：元岡課長補佐・松橋氏（釧路市環境保全課）、山本・安田（北海道環境財団）

概要：教室前方にて 1 名ずつ発表が行われた後、外部講師全員より総括のコメント。



・ 研究発表ボードの評価・学校との共有

標茶小学校 5 年生の各研究発表ボードに対するコメントを作成するとともに、学外展示に向けた選定案を作成し、学校と共有した。

・ 学外での発表会の企画

取り組みの広報、普及を目的として、学外での研究発表ボードの展示会「釧路湿原サイエンスフェア」の企画調整を行った。

実施日	実施場所	概要
令和 3 年 1 月 23 日～1 月 31 日	標茶町開発センター	標茶小学校の学区内に位置する施設において、同校から借用した研究発表ボードを展示する
令和 3 年 2 月 1 日～2 月 18 日	塘路湖エコミュージアム センター	標茶小学校から借用した研究発表ボードを展示する
令和 3 年 2 月 19 日～2 月 25 日	標茶町博物館	標茶小学校から借用した研究発表ボードを展示する
令和 3 年 3 月初旬 (予定)	釧路市役所 本庁舎	中央小学校の学区内に位置する釧路市役所において、同校から借用予定の研究発表ボードを展示する
令和 3 年 3 月下旬 (予定)	釧路市こども遊学館	中央小学校の学区内に位置する施設において、標茶小学校、中央小学校、別保小学校から借用予定の研究発表ボードを展示する



展示風景：標茶町開発センター

次年度の取組について

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

- ・前回ワーキンググループで議論を行った以下の教材作成を検討し、WEB環境も積極的に活用しながら活用の促進を図る。
 - 映像資料と実物サンプルを組み合わせた湿原の教材化
 - 学校の身近な環境を活用した湿原をテーマとしたパッケージドプログラム
- ・次年度については、授業コーディネイトを行う学校や研究発表ボード活用校における児童の設定課題に対応する形で教材の作成を行う。
- ・教材作成にあたっては、教員と調整を図りながら、社会教育分野における様々な専門家とも連携していく。

2. 自然再生の学校教育への活用促進

授業の取組みの中で扱う題材としても自然再生事業の取り組みを活用していく

3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○教員研修講座の実施

- ・教育研究センターや各教育研究所等との連携を積極的に図り、コロナ感染拡大の状況に応じてオンラインでの講座開催も積極的に検討していく。
- ・本ワーキンググループ委員、教員、教員を目指す学生を対象とし、オンライン講座においては、釧路湿原に係る知見を様々な地域の教員等に発信する機会と捉えて、地域に捉われずに参加を募る。
- ・講座の映像記録については、内容、テーマに応じて、学習素材（上記1）への積極的な活用を図る。

○授業づくりの支援

- ・学校と連携を図りながら、釧路湿原を題材としたフィールド学習のコーディネイトを行っていく。
- ・状況に応じて出前授業や映像資料等の提供を行い、年間を通じた授業づくりの支援に努める。
- ・テーマや学年に応じて、湿原が直面する課題、自然再生の取組等も題材として活用していく。

○釧路湿原流域環境を題材とした実践等の発表の場作り、学びのプロセスの支援

- ・自由研究発表ボードを活用した学習の広報に努め、活用を希望する学校に対して、自由研究発表ボードを提供する。
- ・発表会のコーディネイトを行い、児童が外部講師から助言を得る場を企画していく。
- ・学外展示会のコーディネイトを行い、地域の様々な方に児童の取組を周知する場を企画していく。